

おれんじニュース

No369

2021年2月

雪の本明川

CONTENTS

| | |
|-------------|----|
| 月例山行案内 | 2 |
| お知らせ | 3 |
| 定期トレーニング | 4 |
| 眉山 | 5 |
| 野岳 | 6 |
| 雷山(雷山観音コース) | 7 |
| 巨石パーク・金敷城山 | 8 |
| グレート・ヒマラヤ | 9 |
| 石鎚山 三人衆 | 11 |
| おれんじカレンダー | 12 |

| 2021年 | 2月 | 3月 | 時間 | 場所 |
|-------|--------------|----|----|----|
| 専門部会 | 会議はコロナ拡大の為中止 | | | |
| 全体集会 | | | | |

2月



月例山行案内

| 部 | 山行部 | 技術研修部 | ひまわり部 | 自然保護部 |
|--------|--|-------|-------|-------|
| 月/日(曜) | | | | |
| 山名(行事) | | | | |
| 地 図 | | | | |
| 集合場所 | <p style="text-align: center; color: red;">新型コロナウイルス感染拡大の為 2月の例会山行は中止します</p> | | | |
| 難 易 度 | | | | |
| 帰着時間 | | | | |
| 歩行時間 | | | | |
| 交通手段 | | | | |
| 宿泊施設 | | | | |
| 温 泉 | | | | |
| 参 加 費 | | | | |
| 申込期限 | | | | |
| 集 約 | | | | |
| 備 考 | | | | |

3月

| 部 | 技術研修部 | 山行部 | ひまわり部 | 自然保護部 |
|--------|--|-----|-------|-------|
| 月/日(曜) | | | | |
| 山名(行事) | | | | |
| 地 図 | | | | |
| 集合場所 | <p style="text-align: center; color: red;">新型コロナウイルス感染拡大の為 3月の例会山行は中止します</p> | | | |
| 難 易 度 | | | | |
| 帰着時間 | | | | |
| 歩行時間 | | | | |
| 交通手段 | | | | |
| 宿泊施設 | | | | |
| 温 泉 | | | | |
| 参 加 費 | | | | |
| 申込期限 | | | | |
| 集 約 | | | | |
| 備 考 | | | | |



事務局より

* 定例山行・専門会議・全体集会・運営委員会等の中止

- ・昨年暮れより新型コロナウイルス感染者の拡大が進み、会員、会員家族等の命を守る観点より、当会は**3月末まで定例山行、専門会議、全体集会運営委員会等**の集まりを**中止**します。

◇ 新入会員紹介

- ・中岡寿美子さん(1月より正式に会員(長崎市在住))
自然が大好きで山にあこがれて入会しました。よろしくお願ひ致します。

◇ 長崎七高山巡り (1月3日)

- ・七高山巡りとは、江戸時代長崎で正月の2日から15日頃まで市街を囲む七つの山をワラジ履きで、無病息災を祈願ながら、1日をかけて巡礼するならわしです。
七高山とは、金毘羅山、七面山、烽火山、秋葉山、豊前坊、彦山、愛宕山をいいます。
今回オレンジの有志7名が参加しました。
長崎駅から通常と逆コースで愛宕山～金毘羅山を約19km歩きました。(写真提供I氏より)



烽火山から長崎市内



金毘羅山

- * 豊前坊の石段にハート石♥発見、良縁に恵まれる？最後の金毘羅山の鳥居が見えた時は感動した。よく頑張りました、仲間の有難さを実感しました(K・S)。
- * 今回2回目の参加、登山者は少なく烽火山の登りはきつかったが、天気にも恵まれ最後に金毘羅神社で御朱印を頂いた。コロナの終息を祈って下山しました(S・U)。
- * 今回は例年と逆コースで、出会う登山者が少くコロナの影響は避けられた。また皆で登山できるように祈願しました。(A・T)



県連より

- ・12月から全国的に新型コロナウイルスの感染者の拡大が収まらず、1月8日に首都圏では緊急事態宣言が発令され、長崎県でも特別警戒警宣言(フェーズ4)が発令されました。県連部会の皆様、「命を第一に考えて」登山の自粛をお願いします。



クイズ：地図から標高を読み取る

左の地図のイからチまでの標高を求め高い順に並べてください。(2分以内)
順番・()

イ() m) ロ() m) ハ() m) ニ() m)
ホ() m) ヘ() m) ト() m) チ() m)

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

| | | | | | |
|-----|--------|---|--|---|---|
| 実施日 | 12月26日 |  |  |  |  |
| 場 所 | 運動公園 | | | | |
| 参加数 | 15名 | | | | |
| | | ロープ結びの基本 | 確保訓練 | ユマール登坂 | シートタンカ |



火曜岩ハイキング

| 月 日 | 12/22 鎌倉山 | 1/12 高岩山 | 1/19 四牛山・津屋岳 |
|-----|--|--|---|
| 参 加 | 9名 | 7名 | 13名 |
| 行 程 | 9:40 西川内虚空蔵山 P~10:20 鎌倉山~11:20 中里虚空蔵山~11:50 西川内虚空蔵山公園~13:10P | 10:35 宝原園地~11:25 高岩山 11:35~12:15 宝原園地 | 10:05 登山口~11:10 四牛山~金毘羅神社 12:00~13:00 津屋岳登山口~13:40 津屋岳~14:20 登山口 |
| 感 想 | 適当な高さで歩行距離で、展望台と公園もあり楽しめる。 | 真新しい雪を踏みしめゆっくり登った。今年初めての雪山に満足。 | 四牛山は低山ながら展望がよかった。津屋岳に移動途中には国指定重文の旧本田家(山本さん実家)を見学。 |
| 備 考 | 展望台  | 宝原園地 高岩山  | 四牛山、旧本田家   |



水曜登山

| 月 日 | 12/23 鳥甲・大花山 | 1/6 五か原岳 | 1/13 雲仙 | 1/20 虚空蔵山 |
|-----|--|--|--|--|
| 参 加 | 6名 | 7名 | 9名 | 7名 |
| 行 程 | 9:00 しゃくなげ公園 P~10:15 鳥甲~10:45 摩利支天~11:55 二合半~13:05 大花山~14:25 公園P | 9:10 大モの木入口~11:40 五か原岳~12:40 横峯越~14:10 鳥甲・大花山分岐~15:20 郡川砂防公園 | 9:30 池之原 P~10:40 仁田峠 11:40 紅葉茶屋~12:20 風穴別れ~13:20 普賢岳~15:30 池之原 P | 9:40 木場登山口~11:45 虚空蔵山~13:05 岩屋登山口 |
| 感 想 | 全行程5時間半、鳥甲から二合半までは3か所程ピークあり。 | 本年度最初の水曜登山、小雪舞うなか大花山、二合半縦走の予定は時間の都合で残念した。 | これまでにない雲仙の雪の深さを経験し、すばらしい雪景色を満喫した。 | 嬉野方面への縦走路の途中で斧岳があるとの情報で探したが見つからず。 |
| 備 考 | 大花山  | かじか橋を渡る  | 静寂の雪山を歩く   | 虚空蔵山・岩屋   |

2020. 11. 15 眉山 (七面山 819m、天狗山)

行程: 西諫早駅8:00—平成新山ネイチャーC 9:25—
-登山口9:45～南峰10:20～小天狗11:00～天狗山11:30
～運動公園分岐11:50～12:00七面山(昼食)13:20
～天狗分岐13:40～小天狗分岐13:50～南峰分岐14:00
～登山口14:11—西諫早駅15:20



七面山の頂上で

参加者: 山下チ 畦崎 川原 久保 工藤 金丸 堺 川野 福田 石部
田村 山口 渡辺 高森 松岡 今坂 山下文 豊嶋 大原 浦 高田

登山概要

2名の入会者を迎え、3班に分かれて登山開始。3班が小天狗に着いたとき、1班は遙かかなたの天狗山の頂上に。七面山頂上に早く着いた1,2班はロープワークを行った。4時間少しの間、アップダウンの歩きを21名で無事終えた。



小天狗から天狗山を見て
「ヤッホー！」



天狗山頂上



七面山頂上でまじめにロープワーク



ちょっと感想:

- * 天狗山からの景色が良かったです。登り下りが予想通りに変化があり、前回の島原オルレからの眉山で、楽しめました。
- * 島原の町から見た眉山の切り立った崖に驚いたものですが、その断崖を歩いたわけで感動と驚きです。
- * 秋日和の中、皆さんの満天の笑顔が最高でした。



11月20日(金)



参加者

福岡 高田 大久保 中須賀
林 金丸 田中 松岡 下釜

行程

西諫早駅 9:05—池の原 P 10:10～仁田峠 11:11
～野岳山頂 11:50～岩場 12:10～仁田峠 12:50
/13:10 昼食～池の原 P 14:15～西諫早駅 15:25

登山概要

池の原園地から仁田峠へ、舗装された急な坂道を進む、階段状のジグザグの登山道だ。落葉が道一杯に広がって絨毯のようで綺麗でした。広場には紅葉した木が少し残る。道の横に朽ち果てた鳥居の奥に弘法大使像が祀られていた。紅葉も終わり、仁田峠の駐車場には車が少なく、動くケーブルカーも寂しそう。野岳へはトイレの脇に標識あり、20分ほど行くと四阿の野岳休憩所、吉田茂の歌碑ある。進むと登山口の標示板あり、赤いテープ確認し山頂へ、2～3人しかたてない、狭い。山頂から見る妙見岳と平成新山も素晴らしい。下山後は展望岩に行き数名登る。下りは安全を考えザイルを使う。

仁田峠に戻り昼食。池の原園地に全員無事下山。

ちょっと感想

*朽ち木に着いたキノコ3種と「**見事な実のマユミの木**」をみた。展望台へは降りる時の難儀を思い上がらず。昭和天皇の御歌「高原にみやまきりしま**うつくしく**群がり咲きて小鳥とぶなり」の大きな記念碑の額面に**カズラ**が生えて気にかかった

*紅葉はほぼ終わっていましたが、色とりどりの落ち葉で覆われた登山道を歩くのは気持ちよかったです



11/22 雷山(雷山観音コース)

(往) 諫早西駅 7:20—西諫早駅 7:30—大村 IC7:50—佐賀大和 IC8:30—道の駅 8:40—雷山観音 P9:30/9:50—清賀の滝 10:30—雷山山頂 12:15 (昼食)

(復) 雷山山頂 13:00—雷神社上宮 13:15—清賀の滝 13:40—千如寺 14:20/14:40—雷山観音 P14:50—雷神社 15:00—道の駅 16:20/16:30—佐賀大和 IC—西諫早駅 17:30

(3班 清賀の滝 10:37—鎖場でUターン 11:30—昼食—千如寺 13:30—雷山観音 P14:30)

登山概要▲

曇り空の中、雷山観音Pから登山開始。雷山自然歩道から沢沿いの静寂な薄暗い杉林を抜け 30分で目の前に厳かな清賀の滝が出現。休憩後、登りの続く尾根道を1時間程。杉木立の中の雷神社上宮へ着いた頃にはかなり体力を消耗していた。10分程休憩、雨も降って来たので雨具を装着する。ここからはなお急勾配で尾根迄30分、霧の中の尾根伝いに10分歩くことで雷山山頂へ。強風で展望もきかず、昼食後すぐ下山した。下山時は雨の影響で登山道が滑り易かったが、落ち葉を踏みしめながら慎重に下った。1時間程で千如寺に到着。残念ながら主な紅葉は終焉まじかだった。帰りには銀杏、杉、樅ノ木など見事な巨木が林立する雷神社を見学、帰途へ着いた。中々厳しくも面白い山行だった。



出発前皆元気で～す

坂口 松岡 今坂 白石 堺 山下ち 豊嶋
工藤 福岡 川原 鎗水 浦 大久保 中野
浦田 高田 田村 山口 田中

ちょっと感想

- ☺ 紅葉狩りには惜しい天気でしたが、小雨にけぶる千如寺、雷神社の大銀杏に圧倒されました。
- ☺ 残念ながら天候には恵まれませんでしたが、背振山系ならではの歩きを堪能した。
- ☺ 清流の音を聞きながら清賀の滝迄急登。黄葉、紅葉が残っていた。急登はブナ林、水の豊富さは急登の為に残ったブナ林だった。宗教と自然の豊かさを満喫しました。



12/6

巨石パーク・金敷城山(425.5)

烏帽子石



参加者 中須賀 鎗水 田中 下釜 田村 高田 乾 畦崎
大原 大久保 西 今坂 山口 中野 中村 (外)

行程

西諫早駅 8:00~佐賀大和 9:00~巨石
パーク登山口 P 9:15
登山開始 9:30-石神の滝・烏帽子の
雫①—⑬9:40~11:10-分岐 11:40
~金敷城山(昼食)12:00(30分)-分岐
12:45-たもと石⑬13:20—乙文珠宮
13:40-道の駅大和そよかぜ館 14:15
~佐賀大和 14:50~西諫早駅 15:50

蛙石



誕生石



天の岩門



御座石



概要

いつも素通りしている
巨石パークの巨石
群 17 基を楽しみなが
らの山歩きでした。

パークとありますが自然そのままの地形を生かした登
山道(台風の倒木あり)で注意が必要であった。せつかく
なので蛙石から金敷城山まで足を延ばし帰路はたもと
石・乙文珠宮を経由して下山した。



- *さすが目を見張る巨石がそびえ、堂々としていた。
歩きも結構あり満足しました。
- *「パーク」という名前です予想していた以上に登りご
たえのある山で巨石にも驚かされ、おもしろい山歩
きでした。
- *17 の大石を見た。烏帽子石も見方ではとがっ
た石にも見えた。天の岩門の上方ではさまれた岩も
落ちる時が来るだろう。何千年か後には!!
- *巨石もあればあるもの。下山してからの十可苑のモ
ミジの見事なこと!!
- *驚くほどの奇石。形が納得できる名称や、?がつく
ような巨石もありおもしろかった。



グレート・ヒマラヤ・トレイル アップ・ルート 1,700Km

西北ネパールにはアピ山群の7千m台ぐらいで、余り高い雪の峰はありません。これがカンジロワ・ヒマールだと思います。

これは GHT で私が一番好きな写真です。標高4,087m プー村の女の子です。先程のサルダンの下校の子供もそうですが、ネパールの子供達のこの堂々たる表情、態度！ 大人と対等の遣り取りをする、生活能力の高さ。20歳にもなって未だ周囲の大人から晴着を着せて貰う事が当然の様な日本人の私と、こんな幼少の

プー村の子守をする少女
(4,087m)



女の子の迫力と言いますか凄味に圧倒されました。彼らは大変強いし豊かな精神性を持っています。私自身の幼稚さに愕然としました。

2016. 10. 01(土) 曇/晴 1℃

10月に入り今年もダサインの月を迎えました。ここはスワクサ・コーラ。Part2では此処が最もチベット寄りです。前方がチベット国境のバルチュン・ハンガ・ヒマール(5,600~5,860m)です。下草が背丈程に茂り、ヤク道にも惑わされ、ヤラ・ラという5,414mの峠への取付きで2時間程、道を探しました。



チベットとネパールの国境の山

チャンディ・コーラ右岸を下降しますが、大地滑り帯の水際をへつたり高巻きしながらの難路でした。この辺はシーズンには冬虫夏草の薬草取りが沢山入るそうで、野営の跡も沢山ありました。1kg3,500ドルだそうです。続いてタクラ・コーラの渡渉です。橋が流出していてロープを張りました。翌日、チャルゴ・ラと言う峠を越え、私達はヤクもミュールも馬も、駄獣を使わずに人力だけでアップドルパとシェイ・ポクスンド・ナショナルパークを突破した事になりました。その日、タジチョウルと言う場所で樺の樹林帯に幕営しました。4,050m。ここで野生のロバを見て、3日振りの生命体に生き返った様な、瑞々しい感情が蘇ってきました。此処からはヒンドゥとブディスト混濁の村が次々と開けていきます。夫々の民族の言葉になり、純粋ネパール語も勿論チベット語も通じず、流石のチェビさんも苦戦していらっしやいました。これはダサインで屠られたバイシ、水牛



祭りのごちそうに牛を屠る

のメスです。辻々でこういう光景が繰り広げられます。一年に一度の御馳走でネパリは「フレッシュミート! テイスティ!」と、村中ニコニコ。私の様にスーパーでパック詰めされた肉片を買う

しか能が無い人間は全くダメです。

私達もチョウタラと言う村で昨日屠られたばかりのヤギ肉 2Kg を買いました。1Kg が 600 ルピー。ネパリは焚火とダルバート、肉とアルコールがあれば、どこでもご機嫌です。西北ネパールでは稲は育ちません。これはヒユの一種でしょうか？ 中は肌色の芥子粒の様な実が詰まっていました。帰国して中尾佐助さんの御本などで調べましたが分かりませんでした。



終着点ヒルサの村遠望です。フムラ・カルナリ・ナディを中に横たえ、手前の青いトタン屋根がネパール側、奥の発電施設が中国側です。チェビさんは「ネパールはこんなに小さくてダーティだ。中国は立派な建物だ。」と、盛んにスマホで撮影していました。国境線を背に、この石がネパール領を示します。時季には多くのヒンドゥ教徒がここからカイラス巡礼にヘリで向かいます。ヒルサからシミコットへ引き返し、これで本当に最後、41 番目の峠ナラ・ラ (4,560m)。どこからかチェビさんが大石を担いで来てマジックで GHT を二人で印しました。ムスタン、ロー・マタンから持ち続けた風馬旗(ルンタ)を空にまくチェビさん。ルンタはタルチョと同じです。



私が GHT に行くきっかけは 2015 年 4 月 25 日にネパールを襲ったマグニチュード 7.8 の巨大地震の復興支援でしたが、支援なんて飛んでもない、支援されたのは私の方でした。GHT は、チェビさんをはじめとするボテ族が案内してくれたので、ボテ族の生活がそのまま GHT と言える程です。

必要以上に取り過ぎないこと、分かち合うこと、よく話し合うこと、そして畏怖すべき自然の中で神仏を敬い、神と共に生活する彼らの姿は謙虚で力強く、私は深く尊敬しました。アジア最貧国の一つと言われるネパールですが、彼らは身体・心理・社会・靈的に大変強い。私の様に金で物を買ってしか生活できず、無神論者を気取っていても、独力では GHT の生活道を歩く事さえ出来ないというお粗末さです。私の GHT は私の成功ではなく、チーム・ボテとしての成功です。最後に私以上に困難な旅を共にしてくれたポーターさん達をご紹介します。(サンブー君はこれが初めてのトレッキングポーターでしたが、翌年の春にはもうエベレストサミッターになりました)

(山口 千絵子氏 記 本稿終り)

チェビさん

ドルチさん 38 歳

ニマさん 53 歳

アンジュクさん

ドゥサンブー君 21 歳
サンブー君 17 歳



石鎚山 三人旅



愛媛県の百名山、石鎚山の紅葉が見たくて、行って参りました。

10月31日

諫早5:30発 別府～八幡浜フェリー9:45発～八幡浜港12:30着
大洲城・臥龍山荘、松山城を散策し、松山市内泊

11月1日

石鎚山登山(下山後 面河溪谷散策)|

松山市7:00発—土小屋9:30発～二の鎖小屋～弥山12:00着(昼食)12:30～土小屋15:00着

土小屋15:30発—面河溪谷散策16:20—松山市17:30着—温泉18:00—高島屋(夕食)19:00

松山観光港21:55発—～小倉行フェリー(関西汽船)で帰省。2日朝5:00小倉港着。諫早8:45着



石鎚スカイラインの紅葉



大洲城



面河溪谷



臥龍山荘



天候は曇、山頂は霧の中で頂上の紅葉シーズンは残念ながら終わっていました。10月中旬頃が良いかと思われそうです。次回は鎖場、天狗岳も挑戦出来るようになりたいと思いました。

2日間の登山旅行、楽しかったです。いつも山登りを御指導していただく会の皆様に感謝しています。

(豊嶋 大原 中村)



おれんじカレンダー

| 2月 | | | 3月 | | |
|----|---|--|----|---|-------------|
| 1 | 月 | | 1 | 月 | |
| 2 | 火 | 火曜岩ハイキング | 2 | 火 | 火曜岩ハイキング |
| 3 | 水 | 水曜登山 | 3 | 水 | 水曜登山 |
| 4 | 木 | | 4 | 木 | |
| 5 | 金 | | 5 | 金 | |
| 6 | 土 | ボルダリング | 6 | 土 | ボルダリング |
| 7 | 日 | | 7 | 日 | |
| 8 | 月 | | 8 | 月 | |
| 9 | 火 | 火曜岩ハイキング | 9 | 火 | 火曜岩ハイキング |
| 10 | 水 | 水曜登山 | 10 | 水 | 水曜登山 |
| 11 | 木 | | 11 | 木 | |
| 12 | 金 | | 12 | 金 | |
| 13 | 土 | ボルダリング | 13 | 土 | ボルダリング |
| 14 | 日 | | 14 | 日 | |
| 15 | 月 | | 15 | 月 | |
| 16 | 火 | 火曜岩ハイキング | 16 | 火 | 火曜岩ハイキング |
| 17 | 水 | 水曜登山 | 17 | 水 | 水曜登山 |
| 18 | 木 | | 18 | 木 | |
| 19 | 金 | | 19 | 金 | |
| 20 | 土 | ボルダリング | 20 | 土 | ボルダリング |
| 21 | 日 | | 21 | 日 | |
| 22 | 月 | | 22 | 月 | |
| 23 | 火 | 火曜岩ハイキング | 23 | 火 | 火曜岩ハイキング |
| 24 | 水 | 水曜登山 | 24 | 水 | 水曜登山 |
| 25 | 木 | | 25 | 木 | |
| 26 | 金 | | 26 | 金 | |
| 27 | 土 | コンパニオンレスキュー | 27 | 土 | コンパニオンレスキュー |
| 28 | 日 | 新型コロナウイルス感染拡大の為、2月、3月の例会山行と会議は中止します。 定期トレーニングの火曜岩ハイキング、水曜登山、ボルダリング、コンパニオンレスキューは予定通り実施します。 | 28 | 日 | |
| | | | 29 | 月 | |
| | | | 30 | 火 | 火曜岩ハイキング |
| | | | 31 | 水 | 水曜登山 |

*火曜岩ハイキング：9:00、コンパニオンレスキュー：9:30 西諫早駅集合 川原顧問所掌

| | |
|--------|---|
| 発行元 | オレンジハイキングクラブ |
| 発行責任者 | 中須賀 孝正 |
| 編集委員 | 鎗水律夫、福岡正廣、松岡正樹、工藤学、林孝子 中野美津子、田中静香、高森陽子、高田啓子 |
| 発行年月日 | 2021/1/27 |
| 郵便振込口座 | |
| ホームページ | http://orangehikingclub.com |